

第4回 新たな図柄入りナンバープレートの導入に関する検討会  
議事概要

1. 日時：令和2年12月18日（金）17：30～18：30
2. 場所：WEB開催
3. 出席者：石田委員、北嶋委員、竹岡委員、寺井委員、吉田委員、  
板崎委員、岡安委員
4. 議事（概要）
  - (1) 新全国版プレートのデザイン案募集について、資料1により説明した。
  - (2) 図柄デザイン制作に関するガイドラインについて、資料2により説明した。
  - (3) (1)(2)について委員の了承を得た。
  - (4) 今後のスケジュールについて、資料3により交付開始までの予定を説明し、議論を行った。

<新全国版プレートのデザイン案募集について>（資料1）

（事務局の説明）

- デザイン案については、これまでの議論の通り、日本の元気を取り戻していこうというメッセージを込め、「日本を元気に」「立ち上がれ美しい日本」をテーマとして募集したい。
- 前回の検討会意見を踏まえ、募集対象は応募日時時点で30歳未満の方としたい。
- 募集時のキャッチコピーは、「あなたのデザインで日本を元気に」としたい。
- 応募は個人かグループか、どちらか一方で1作品までとしたい。
- 全国自動車標板協議会より、最終的な採用デザインの応募者に賞金100万円、最終選考まで残った採用候補デザインの応募者に10万円ずつ贈呈することを考えている。別途、国交省からは、採用デザインの応募者に賞状と記念品を授与することを想定している。
- 事業用登録自動車及び軽自動車については、プレートフレームの装着により枠が見えなくなるというご意見を踏まえ、新全国版プレートについては、左上に塗色を追加することにより区分していきたい。
- 新全国版プレートの寄付なしデザインについては、地方版ナンバーと同様の取り扱いで、寄付ありと同一の図柄でモノトーンカラーとしたい。
- 募集期間については、来年2月1日より3月30日までとしたい。

（委員からの主な意見）

- 現在のコンペティションでは、賞金が何十万円より何百万円単位のものが多いので、そういうものを狙う学生にとって励みになる額なので良かった。

- 良いデザインが出て良いナンバープレートが作られれば非常にありがたい。
- モノトーン版（寄付なし）の人気が出て、寄付金が集まりにくくなることもあり得るのではないか。
  - ⇒ 寄付をしてもモノトーン版を選択できる。
  - ⇒ 地方版ナンバーでは、モノトーン版を選ぶ方は少ない。
- 寄付は大事なことだが、それよりは地域を元気にしたいとか、日本を元気にしたいということの方が大事である。

#### （まとめ）

- 事務局の提案内容について異議なし。

### <図柄デザイン制作に関するガイドラインについて>（資料2）

#### （事務局の説明）

- 図柄入りナンバープレートの図柄デザインについては、色味等を基準化すると、デザインの自由度を狭めることになるため、具体的な基準を示してこなかったが、視認性に配慮した図柄デザイン提案がなされるように指針としてガイドラインをお示ししたい。
- ナンバーの文字や数字の周辺部分（資料2-1 2.の青塗り部分）について、色味制限をすることとしたい。（その他の範囲については、特段制限しない。）
- 具体的な色味制限の方法は、マンセル表色系の色相と明度と彩度（資料2-1 3.）の3つの観点から色の系統別ごとに数値化して設定することとしたい。
- 過去の実績から色味等の調整が必要となる良くないデザイン、緑枠の事業用ナンバーと勘違いしかねないデザイン、ガイドライン案にある上部（色味制限がない範囲）をうまく活用したデザインを例示している。（資料2-1 4.）

#### （委員からの主な意見）

- マンセル値だけでは研究者的な数値でよくわからないので、印刷した時にCMYKの四色分解でどうなるかが丁寧に説明されているので、どれを使っているのかというのが、応募する方にとって具体的でわかりやすくなっている。
- 緑色とか黄色の枠について、デザインとの調和を図りながらその大きさを調整するならば、ガイドラインにそのことが読み取れる部分が必要ではないか。
  - ⇒ 大きさは決められており、デザイン制作ソフトの画面上で確認できる。

#### （まとめ）

- 事務局の提案内容について異議なし。

## <今後のスケジュールについて> (資料3)

### (事務局の説明)

- 年明け1月にデザイン募集についてのプレス発表を行い、コンペティションについての周知活動を開始したい。
- デザインの募集期間は当初の予定より1ヶ月繰り下げて、2月1日から3月30日までとし、4月に1次審査を行い、5月の検討会で5案程度に絞りたい。その際に、新全国版プレートの寄付金の使途についても議論したいと考えている。
- 6月に国民投票を実施し、夏頃には検討会で採用デザインの決定を行いたい。
- 視認性試験等を経て、11月頃に採用デザインの最終発表を行い、手数料手続き・告示改正等を行い、令和4年度から交付開始ということで進めていきたいと考えている。
- 地方版のスケジュールについては、令和4年度の募集開始を目指して、来年度の検討会で結論を得るように議論をしたいと考えている。
- 大阪万博ナンバーについては、近々政府の基本方針が閣議決定される予定で、その中で大阪・関西万博ナンバー交付についても位置付けられる予定となっている。万博ナンバーの交付に向けた準備も並行して進んでいくことが想定されるため、こちらの進捗についても随時、検討会の方で報告をする。

### (委員からの意見)

- 募集期間を繰り下げていただいた点はよかった。大学も学年末の納めや入試等、3月末まで動きが多く、今回新型コロナウイルスの影響で色々入試関係も変わってきている状況。できるだけ参加いただく側の大学にもいろんなところからアプローチしていただいて動いていただけるよう働きかけていただけるとありがたい。
- デザインのオリジナリティの問題が気になる。そのところのチェックはしっかりお願いしたい。  
⇒ オリジナリティ(類似デザインがないか)のチェックの件は事務局でもしっかりやっていきたい。
- 1次審査される方々も各自動車メーカーのデザイナー出身の方が多いので、知財に関しては逆に厳しい目で見られるのかなとは思う。また、デザインをやっているとかないとかよりも、検討会委員には素で見ていただくことも大事だと思う。